

# アッシュモア新興国 短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジあり) 【繰上償還 運用報告書(全体版)】

第14作成期 (2021年1月27日から2021年1月29日まで)

第 **79** 期  
償還日 2021年1月29日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国短期社債等に投資することにより、相対的に高い利回りの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。当作成期については、償還を控え現金で保有し、2021年1月29日に繰上償還となりました。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。

## ■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2014年7月31日から2021年1月29日 (当初、2024年7月26日) まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国短期社債等に投資することにより、相対的に高い利回りの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 アッシュモア・エマージング・マーケット・ショート・デュレーション・コーポレート・デッド・ファンド (ヘッジ・マンスリー・ディストリビューション・クラス) 新興国の社債 マネープール・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■ 主として、米ドル建ての新興国短期社債等に投資することにより、相対的に高い利回りの確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。 ■ 実質的な運用は、アッシュモア・インベストメント・アドバイザーズ・リミテッドが行います。 ■ 原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
組入制限	■ 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■ 毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■ 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※ 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## ■ 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

## ■ 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジあり）

■ 最近 5 作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率	投資信託比率	純資産総額
		(分配落)	税金配込	騰落率			
第10 作成期	55期(2019年2月26日)	円 8,967	円 35	0.4%	0.1%	98.5%	百万円 228
	56期(2019年3月26日)	8,889	35	△ 0.5	0.0	98.7	225
	57期(2019年4月26日)	8,841	35	△ 0.1	0.1	98.4	225
	58期(2019年5月27日)	8,828	35	0.2	0.1	98.8	221
	59期(2019年6月26日)	8,833	35	0.5	0.1	98.5	236
	60期(2019年7月26日)	8,769	35	△ 0.3	0.1	98.6	241
第11 作成期	61期(2019年8月26日)	8,491	35	△ 2.8	0.1	98.5	233
	62期(2019年9月26日)	8,386	35	△ 0.8	0.1	98.4	231
	63期(2019年10月28日)	8,476	35	1.5	0.1	98.4	233
	64期(2019年11月26日)	8,260	35	△ 2.1	0.1	98.4	227
	65期(2019年12月26日)	8,514	35	3.5	0.1	98.5	238
	66期(2020年1月27日)	8,569	35	1.1	0.1	98.4	239
第12 作成期	67期(2020年2月26日)	8,198	35	△ 3.9	0.1	98.8	248
	68期(2020年3月26日)	6,200	35	△ 23.9	0.1	98.2	187
	69期(2020年4月27日)	6,468	35	4.9	0.0	98.1	192
	70期(2020年5月26日)	6,876	35	6.8	0.1	98.5	203
	71期(2020年6月26日)	7,265	35	6.2	0.1	98.5	215
	72期(2020年7月27日)	7,449	35	3.0	0.1	98.2	202
第13 作成期	73期(2020年8月26日)	7,540	35	1.7	0.1	98.6	205
	74期(2020年9月28日)	7,326	35	△ 2.4	0.1	98.7	195
	75期(2020年10月26日)	7,294	35	0.0	0.4	82.1	62
	76期(2020年11月26日)	7,425	35	2.3	0.5	90.5	48
	77期(2020年12月28日)	7,396	35	0.1	—	—	46
	78期(2021年1月26日)	7,389	0	△ 0.1	—	—	33
第14 作成期	(償還時) 79期(2021年1月29日)	(償還価額) 7,388.43	—	△ 0.0	—	—	30

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

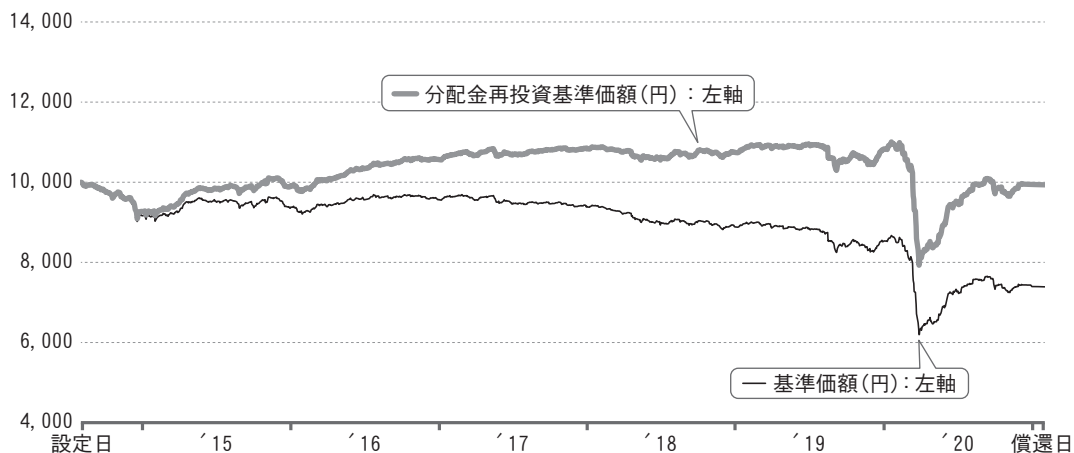
決算期	年 月 日	基準価額		債券組入率	投資信託比率	純資産総額
		騰落率	騰落率			
第79期	(期首) 2021年1月26日	円 7,389	% —	% —	% —	% —
	(償還時) 2021年1月29日	(償還価額) 7,388.43	△ 0.0	—	—	—

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

設定以来の運用状況（設定日2014年7月31日から償還日2021年1月29日まで）

設定以来の基準価額の推移



前作成期までの運用の概略（設定日2014年7月31日から第13作成期末2021年1月26日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国短期社債等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

【第1作成期（設定日（2014年7月31日）から2015年1月26日）】

上昇要因	・ 為替相場において、円安傾向となったこと
下落要因	・ 原油価格の下落に伴う産油国を中心とした新興国経済の鈍化懸念や地政学リスクの高まりを背景に、新興国社債の спреッド（米国国債に対する上乘せ金利）が拡大したこと

【第2作成期（2015年1月27日から2015年7月27日まで）】

上昇要因	・ 作成期初から4月下旬にかけて、地政学リスクの後退、商品価格の持ち直しなどを背景に、新興国社債の спреッドが縮小したこと
------	---

## アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジあり）

### 【第3作成期（2015年7月28日から2016年1月26日まで）】

**下落要因** ・ 作成期を通してみれば、新興国社債の спреッドが拡大したこと

### 【第4作成期（2016年1月27日から2016年7月26日まで）】

**上昇要因** ・ 原油価格の上昇により新興国の景気減速懸念が後退し、利回りの高い新興国債券（特にハイイールド債券中心）の спреッドが縮小したこと  
・ 原油価格の回復により財政懸念が後退したベネズエラや大統領の弾劾により、経済運営の正常化が期待されるブラジルの社債価格が大きく上昇したこと

### 【第5作成期（2016年7月27日から2017年1月26日まで）】

**上昇要因** ・ 相対的に利回り水準の高い新興国債券に資金が流入したことにより、ハイイールド債を中心に спреッドが縮小したこと  
・ 個別国では、ベネズエラやウクライナの上昇に加えて、一時下落していたブラジルもファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）の改善を受けて上昇したこと

### 【第6作成期（2017年1月27日から2017年7月26日まで）】

**上昇要因** ・ 世界的な利回り低下を受けて、相対的に利回り水準の高い新興国債券に資金が流入したこと  
・ ファンダメンタルズ改善が続いているブラジルや、政治不安にもかかわらず国債の償還が無事に進んでいることでベネズエラ債券市場が上昇したこと

### 【第7作成期（2017年7月27日から2018年1月26日まで）】

**上昇要因** ・ 相対的に利回り水準の高い新興国債券に資金が流入したこと  
・ 原油価格が大幅な上昇となったことから、カザフスタンやエクアドルなどの産油国の債券市場が上昇したこと

### 【第8作成期（2018年1月27日から2018年7月26日まで）】

**下落要因** ・ 米国国債利回りが上昇したこと  
・ 作成期初から6月下旬にかけて、ハイイールド債を中心に спреッドが拡大したこと  
・ 政府が緊縮財政を推進したことにより景気減速感が強まったエクアドルの債券市場が下落したこと

## アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジあり）

### 【第9作成期（2018年7月27日から2019年1月28日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米国国債利回りが低下（価格は上昇）したこと</li> <li>・ 1月の下旬から作成期末にかけて、F R B（米連邦準備制度理事会）の引締めスタンスが緩和されるとの見方などを背景に、新興国債券の спреッドが縮小したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月の中旬から2019年1月上旬にかけて、原油価格の下落などを背景に、新興国債券の спреッドが拡大したこと</li> </ul>

### 【第10作成期（2019年1月29日から2019年7月26日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成期を通してみれば、米国国債利回りの低下に連れて、新興国債券の利回りも低下したこと</li> <li>・ 作成期を通してみれば、新興国債券の спреッドが縮小したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別銘柄では、債務再編交渉が難航したことから、ジャマイカの通信会社 Digicel の債券価格が下落したこと</li> <li>・ ヘッジコストがかかったこと</li> </ul>

### 【第11作成期（2019年7月27日から2020年1月27日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成期を通してみると、米国国債利回りが低下したこと</li> <li>・ 作成期を通してみると、新興国債券の спреッドが縮小したこと</li> </ul>
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大統領の交代によって債務の返済に対して懐疑的な見方が広がったアルゼンチンの国債、社債の価格が下落したこと</li> <li>・ ヘッジコストがかかったこと</li> </ul>

### 【第12作成期（2020年1月28日から2020年7月27日まで）】

下落要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格付けの低い債券が格付けの高い債券をアンダーパフォームした中、ハイイールド債を多く保有していたこと</li> <li>・ 利払いや償還が延期されたエクアドルやアルゼンチン、レバノンの債券価格が下落したこと</li> <li>・ ヘッジコストがかかったこと</li> </ul>
------	---

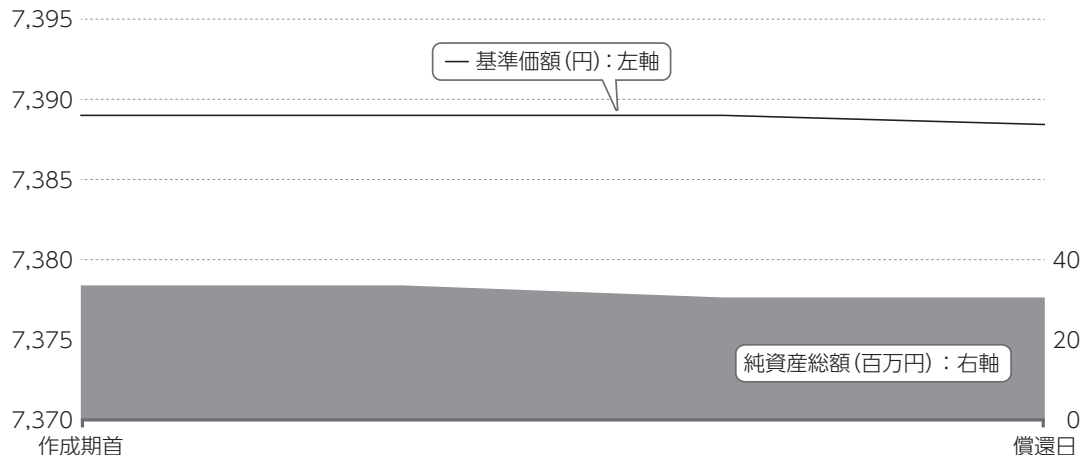
### 【第13作成期（2020年7月27日から2021年1月26日まで）】

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成期を通してみると、新興国債券の спреッドが縮小したこと</li> </ul>
------	---

## 1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年1月27日から2021年1月29日まで)

### 基準価額等の推移



作成期首	7,389円
償還日	7,388円43銭 (当作成期分配金0円(税引前)込み)
騰落率	-0.0% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因(2021年1月27日から2021年1月29日まで)

償還を控え、現金で保有していたため該当事項はありません。

#### 投資環境について(2021年1月27日から2021年1月29日まで)

作成期首から償還まで3日間であったことから、投資環境については特段記載すべきことはありませんでした。

#### ポートフォリオについて(2021年1月27日から2021年1月29日まで)

### 当ファンド

償還に向けて、現金を保有しました。

#### ベンチマークとの差異について(2021年1月27日から2021年1月29日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

#### 分配金について(2021年1月27日から2021年1月29日まで)

償還のため、該当事項はございません。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

#### 約款変更について

該当事項はございません。

## アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジあり）

### ■ 1万口当たりの費用明細（2021年1月27日から2021年1月29日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬	1円	0.009%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数）
（ 投 信 会 社 ）	（ 0 ）	（ 0.002 ）	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 0 ）	（ 0.006 ）	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 0 ）	（ 0.000 ）	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
合 計	1	0.009	

期中の平均基準価額は7,388円です。

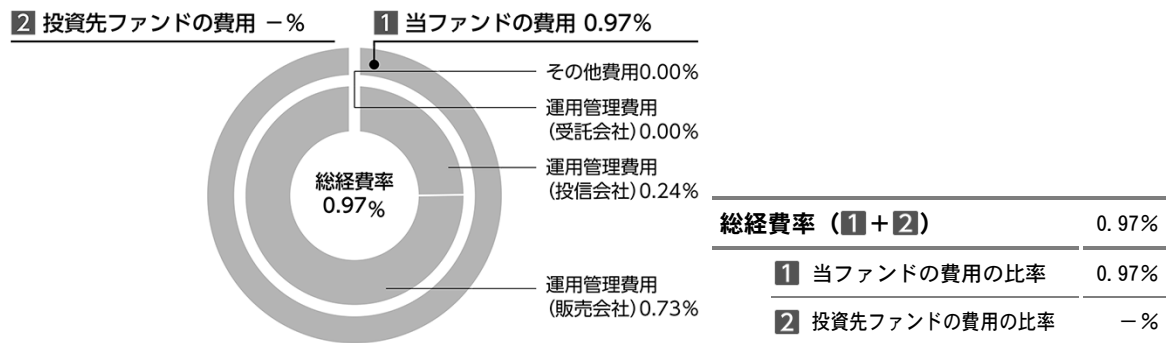
※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

### 参考情報 総経費率（年率換算）



※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

※当作成期においては、投資先ファンドの組入れはないため、**2**の費用は発生しておりません。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は0.97%です。



■ ■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2021年1月27日から2021年1月29日まで）

当作成期中における記載すべき項目はありません。

■ ■ 利害関係人との取引状況等（2021年1月27日から2021年1月29日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
（2021年1月27日から2021年1月29日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ ■ 組入れ資産の明細（2021年1月29日現在）

償還日現在の組入れはありません。

■ ■ 投資信託財産の構成

（2021年1月29日現在）

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 33,577	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	33,577	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び償還価額の状況

（2021年1月29日現在）

項 目	償還時
(A) 資 産	33,577,623円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	33,577,623
(B) 負 債	3,024,734
未 払 解 約 金	3,020,093
未 払 信 託 報 酬	3,825
未 払 利 息	274
そ の 他 未 払 費 用	542
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	30,552,889
元 本	41,352,333
償 還 差 損 金	△10,799,444
(D) 受 益 権 総 口 数	41,352,333口
1 万 口 当 たり 償 還 価 額 ( C / D )	7,388円43銭

※当作成期における作成期首元本額45,439,616円、作成期中追加設定元本額0円、作成期中一部解約元本額4,087,283円です。

※上記表中の償還差損金は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり償還価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

（自2021年1月27日 至2021年1月29日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 441円
支 払 利 息	△ 441
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	193
売 買 損 益	193
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,825
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 4,073
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 8,703,470
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,091,901
( 配 当 等 相 当 額 )	( 421,071)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 2,512,972)
償 還 差 損 金 ( D + E + F )	△10,799,444

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型 (為替ヘッジあり)

■ 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年7月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年1月29日		資産総額	33,577,623円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	3,024,734円
				純資産総額	30,552,889円
受益権口数	246,874,465口	41,352,333口	△205,522,132口	受益権口数	41,352,333口
元本額	246,874,465円	41,352,333円	△205,522,132円	1万口当たり償還金	7,388.43円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	359,610,619円	356,997,253円	9,927円	0円	0.00%
第2期	456,783,969	447,968,346	9,807	0	0.00
第3期	515,551,507	498,848,475	9,676	35	0.35
第4期	524,523,271	500,712,822	9,546	35	0.35
第5期	500,460,424	458,862,620	9,169	35	0.35
第6期	543,839,491	497,173,198	9,142	35	0.35
第7期	632,112,562	579,540,881	9,168	35	0.35
第8期	632,683,319	585,374,600	9,252	35	0.35
第9期	625,211,342	593,212,609	9,488	35	0.35
第10期	626,066,513	598,627,018	9,562	35	0.35
第11期	706,469,062	673,162,096	9,529	35	0.35
第12期	700,833,195	667,503,406	9,524	35	0.35
第13期	655,508,834	612,913,196	9,350	35	0.35
第14期	611,701,589	575,734,826	9,412	35	0.35
第15期	593,472,872	566,064,722	9,538	35	0.35
第16期	556,167,770	533,689,607	9,596	35	0.35
第17期	488,175,488	456,544,199	9,352	35	0.35
第18期	467,140,651	431,979,912	9,247	35	0.35
第19期	365,951,929	341,659,442	9,336	35	0.35
第20期	340,080,736	319,269,906	9,388	35	0.35
第21期	339,193,075	320,621,448	9,452	35	0.35
第22期	312,136,733	298,947,254	9,577	35	0.35
第23期	290,909,191	278,101,120	9,560	35	0.35
第24期	278,674,200	268,578,411	9,638	35	0.35
第25期	277,698,560	266,822,522	9,608	35	0.35
第26期	459,595,702	442,410,135	9,626	35	0.35
第27期	379,941,026	366,866,601	9,656	35	0.35
第28期	359,777,117	345,117,568	9,593	35	0.35
第29期	358,686,886	343,108,589	9,566	35	0.35

アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型 (為替ヘッジあり)

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第30期	386,457,459円	372,103,095円	9,629円	35円	0.35%
第31期	387,337,670	373,802,864	9,651	35	0.35
第32期	402,503,277	384,326,757	9,548	35	0.35
第33期	402,555,098	387,226,056	9,619	35	0.35
第34期	387,481,424	367,157,991	9,475	35	0.35
第35期	387,486,032	366,572,813	9,460	35	0.35
第36期	376,832,178	355,930,744	9,445	35	0.35
第37期	374,758,464	354,905,711	9,470	35	0.35
第38期	369,723,775	349,912,543	9,464	35	0.35
第39期	368,775,938	349,097,522	9,466	35	0.35
第40期	349,278,318	328,081,269	9,393	35	0.35
第41期	325,216,678	305,305,063	9,388	35	0.35
第42期	323,846,977	303,721,815	9,379	35	0.35
第43期	323,546,454	301,020,320	9,304	35	0.35
第44期	316,394,822	291,274,653	9,206	35	0.35
第45期	316,395,307	287,015,130	9,071	35	0.35
第46期	316,395,801	285,951,602	9,038	35	0.35
第47期	311,378,661	279,730,804	8,984	35	0.35
第48期	278,617,551	251,002,899	9,009	35	0.35
第49期	274,696,563	247,373,521	9,005	35	0.35
第50期	274,697,068	246,999,639	8,992	35	0.35
第51期	273,611,618	245,161,646	8,960	35	0.35
第52期	267,757,822	236,424,654	8,830	35	0.35
第53期	267,758,344	238,028,082	8,890	35	0.35
第54期	267,758,863	240,189,999	8,970	35	0.35
第55期	254,790,595	228,471,959	8,967	35	0.35
第56期	254,010,041	225,791,108	8,889	35	0.35
第57期	254,696,704	225,176,254	8,841	35	0.35
第58期	251,475,354	221,996,410	8,828	35	0.35
第59期	267,347,969	236,158,170	8,833	35	0.35
第60期	275,554,673	241,642,002	8,769	35	0.35
第61期	275,591,828	233,994,149	8,491	35	0.35
第62期	275,595,259	231,113,537	8,386	35	0.35
第63期	275,598,748	233,584,455	8,476	35	0.35
第64期	275,602,213	227,656,843	8,260	35	0.35
第65期	280,059,856	238,438,047	8,514	35	0.35
第66期	280,063,335	239,976,319	8,569	35	0.35

## アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型（為替ヘッジあり）

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第67期	303,665,212円	248,949,239円	8,198円	35円	0.35%
第68期	302,668,855	187,646,925	6,200	35	0.35
第69期	297,335,906	192,308,122	6,468	35	0.35
第70期	296,340,568	203,763,583	6,876	35	0.35
第71期	296,344,977	215,309,093	7,265	35	0.35
第72期	272,309,532	202,853,678	7,449	35	0.35
第73期	272,313,642	205,327,171	7,540	35	0.35
第74期	267,369,114	195,887,348	7,326	35	0.35
第75期	85,539,279	62,395,101	7,294	35	0.35
第76期	65,268,209	48,460,363	7,425	35	0.35
第77期	62,291,380	46,073,459	7,396	35	0.35
第78期	45,439,616	33,577,256	7,389	0	0.00

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# マネープール・マザーファンド

第11期 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2009年10月30日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## ■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	円	期 中 騰 落 率 %		
7 期 (2016年10月12日)	10,048	△0.0	96.0	427,847
8 期 (2017年10月12日)	10,041	△0.1	95.9	470,433
9 期 (2018年10月12日)	10,032	△0.1	16.6	440,044
10期 (2019年10月15日)	10,023	△0.1	96.1	411,156
11期 (2020年10月12日)	10,014	△0.1	93.4	354,336

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

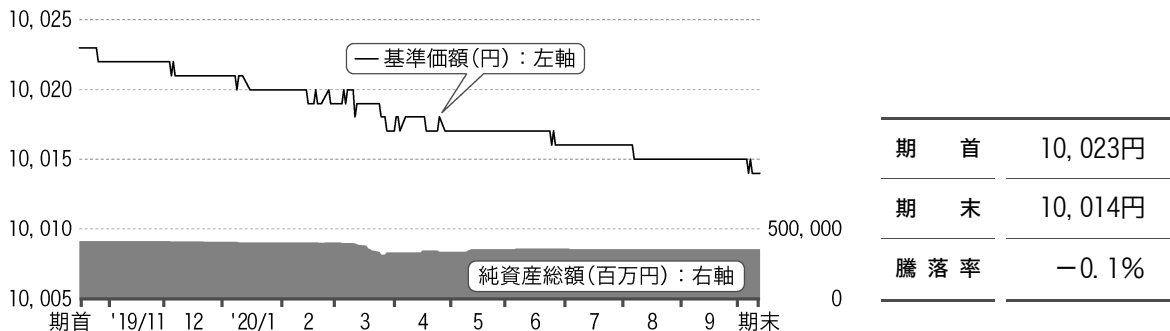
年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2019年10月15日	10,023	—	96.1
10月末	10,022	△0.0	96.2
11月末	10,022	△0.0	95.3
12月末	10,021	△0.0	47.8
2020年1月末	10,020	△0.0	95.2
2月末	10,019	△0.0	92.7
3月末	10,017	△0.1	38.8
4月末	10,017	△0.1	35.4
5月末	10,017	△0.1	38.6
6月末	10,016	△0.1	92.8
7月末	10,016	△0.1	97.4
8月末	10,015	△0.1	92.4
9月末	10,015	△0.1	92.8
(期 末) 2020年10月12日	10,014	△0.1	93.4

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

#### 基準価額等の推移



### ▶ 基準価額の変動要因 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

### ▶ 投資環境について (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

当期の短期金利は上昇しました。

物価上昇率の伸びが徐々に鈍化したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を据え置き、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から、年末越えの運用ニーズが徐々に落るとともに上昇基調となり、12月初旬に-0.10%近辺となった後、横ばい圏で推移しました。

2月下旬から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、3月にはリスク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まり、3月下旬に利回りは一時

－0.40%台まで低下しました。ただし、過度な国債需給の引き締まりに対し、日銀が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転じました。

その後は政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりました。しかし、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回り上昇は一服しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首－0.290%に対し、期末は－0.090%へ上昇しました。

---

### ▶ ポートフォリオについて (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

---

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

---

### ▶ ベンチマークとの差異について (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。



■ 1万口当たりの費用明細(2019年10月16日から2020年10月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	2円 (2)	0.016% (0.016)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	2	0.016	

期中の平均基準価額は10,018円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2019年10月16日から2020年10月12日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	37,489,129,478	37,473,188,492 (120,680,000)
	地方債証券	117,230,641	— (57,141,700)
	特殊債証券	17,248,984	— (36,223,100)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年10月16日から2020年10月12日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 330,495	百万円 63,658	% 19.3	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMBC日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2019年10月16日から2020年10月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

# マネープール・マザーファンド

## ■ 組入れ資産の明細(2020年10月12日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国 債 証 券	235,290,000 (235,290,000)	235,303,469 (235,303,469)	66.4 (66.4)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	66.4 (66.4)
地 方 債 証 券	80,116,930 (80,116,930)	80,278,776 (80,278,776)	22.7 (22.7)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	22.7 (22.7)
特 殊 債 券 (除く金融債)	15,174,800 (15,174,800)	15,225,380 (15,225,380)	4.3 (4.3)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	4.3 (4.3)
合 計	330,581,730 (330,581,730)	330,807,626 (330,807,626)	93.4 (93.4)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	93.4 (93.4)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第923回 国庫短期証券	—	10,290,000	10,290,174	2020/10/19
	第923回 国庫短期証券※	—	140,000,000	140,002,800	—
	第925回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,000,370	2020/10/26
	第926回 国庫短期証券	—	15,000,000	15,000,855	2020/11/2
	第928回 国庫短期証券	—	15,000,000	15,001,155	2020/11/9
	第929回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,000,970	2020/11/16
	第931回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,001,200	2020/11/24
	第938回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,002,360	2020/12/21
	第943回 国庫短期証券	—	15,000,000	15,003,585	2021/1/18
小 計		—	235,290,000	235,303,469	—
地 方 債 証 券	第690回 東京都公募公債	1.29	500,000	501,160	2020/12/18
	第691回 東京都公募公債	1.24	700,000	701,561	2020/12/18
	第692回 東京都公募公債	1.35	1,300,000	1,303,159	2020/12/18
	第693回 東京都公募公債	1.38	100,000	100,588	2021/3/19
	第694回 東京都公募公債	1.35	1,360,600	1,368,423	2021/3/19
	第695回 東京都公募公債	1.2	300,000	301,530	2021/3/19
	第696回 東京都公募公債	1.19	100,000	100,801	2021/6/18
	第697回 東京都公募公債	1.11	750,000	755,595	2021/6/18
	第698回 東京都公募公債	1.05	300,000	302,118	2021/6/18
	第699回 東京都公募公債	1.02	1,200,000	1,211,220	2021/9/17
	第701回 東京都公募公債	0.99	1,700,000	1,715,419	2021/9/17
	第11回2号宮城県公募公債(5年)	0.101	2,580,000	2,580,232	2020/11/27

## マネープール・マザーファンド

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
	第12回1号宮城県公募公債(5年)	0.001	100,000	99,988	2021/7/27
	平成22年度第9回 静岡県公募公債	0.946	300,000	300,105	2020/10/26
	平成22年度第11回 静岡県公募公債	1.008	1,523,910	1,525,723	2020/11/25
	平成22年度第13回 静岡県公募公債	1.316	301,000	302,739	2021/3/24
	平成23年度第3回 静岡県公募公債	1.193	103,290	104,038	2021/5/25
	平成23年度第5回 静岡県公募公債	1.158	200,000	201,622	2021/6/28
	平成23年度第6回 静岡県公募公債	1.201	170,000	171,569	2021/7/23
	平成22年度第15回 愛知県公募公債(10年)	1.316	150,000	150,387	2020/12/24
	平成22年度第16回 愛知県公募公債(10年)	1.245	100,000	100,362	2021/1/28
	平成22年度第18回 愛知県公募公債(10年)	1.383	100,000	100,507	2021/2/25
	平成22年度第19回 愛知県公募公債(10年)	1.398	200,000	201,276	2021/3/30
	平成23年度第3回 愛知県公募公債(10年)	1.212	250,000	251,857	2021/5/27
	平成23年度第4回 愛知県公募公債(10年)	1.182	1,900,000	1,915,732	2021/6/28
	平成23年度第7回 愛知県公募公債(10年)	1.11	600,000	605,220	2021/7/29
	平成23年度第11回 愛知県公募公債(10年)	1.03	1,000,000	1,010,590	2021/10/28
	平成25年度第13回 愛知県公募公債(7年)	0.435	100,000	100,003	2020/10/15
	平成26年度第2回 愛知県公募公債(7年)	0.357	1,500,000	1,502,670	2021/4/23
	平成22年度第6回 広島県公募公債	1.26	806,000	808,869	2021/1/25
	平成23年度第1回 広島県公募公債	1.19	385,630	388,441	2021/5/27
	平成23年度第3回 広島県公募公債	1.1	400,000	404,156	2021/9/27
	平成27年度第6回 広島県公募公債(5年)	0.053	4,310,000	4,310,474	2021/2/25
	平成22年度第10回 埼玉県公募公債	1.26	300,000	301,098	2021/1/28
	平成22年度第11回 埼玉県公募公債	1.28	100,000	100,469	2021/2/25
	平成23年度第2回 埼玉県公募公債	1.19	400,000	402,892	2021/5/25
	平成23年度第4回 埼玉県公募公債	1.2	700,000	706,538	2021/7/27
	平成23年度第6回 埼玉県公募公債	1.02	400,000	404,184	2021/10/27
	平成27年度第10回 埼玉県公募公債(5年)	0.053	5,200,000	5,200,572	2021/2/25
	平成28年度第2回 埼玉県公募公債(5年)	0.02	100,000	100,000	2021/4/15
	平成22年度第5回 福岡県公募公債	0.94	300,000	300,120	2020/10/28
	平成22年度第8回 福岡県公募公債	1.29	320,000	320,809	2020/12/24
	平成23年度第5回 福岡県公募公債	1.02	1,100,000	1,111,440	2021/10/25
	平成23年度第1回 福岡県公募公債	1.18	300,000	302,481	2021/6/28
	平成27年度第8回 福岡県公募公債	0.101	5,870,000	5,871,232	2021/1/20
	平成28年度第2回 福岡県公募公債	0.001	900,000	899,892	2021/7/20
	平成27年度第1回 奈良県公募公債	0.101	3,440,000	3,440,344	2020/11/30
	平成22年度第6回 大阪市公募公債	1.03	230,000	230,239	2020/11/19
	平成23年度第4回 大阪市公募公債	1.178	450,000	454,054	2021/7/22
	平成23年度第6回 大阪市公募公債	1.071	350,000	353,430	2021/9/16
	平成27年度第5回 大阪市公募公債(5年)	0.101	5,100,000	5,100,459	2020/11/25
	平成27年度第7回 大阪市公募公債(5年)	0.101	5,000,000	5,001,150	2021/1/26
	第22回 名古屋市長公募公債(5年)	0.101	6,400,000	6,400,512	2020/11/20
	第23回 名古屋市長公募公債(5年)	0.005	100,000	99,993	2021/6/18
	第473回 名古屋市長公募公債(10年)	1.29	291,000	291,675	2020/12/18
	第476回 名古屋市長公募公債(10年)	1.029	200,000	201,886	2021/9/17
	第2回 京都市公募公債(7年)	0.449	1,600,000	1,601,376	2020/12/25
	平成27年度第6回 京都市公募公債	0.021	3,200,000	3,200,000	2021/3/25
	平成28年度第1回 京都市公募公債	0.001	300,000	299,964	2021/7/20
	平成28年度第3回 京都市公募公債	0.001	100,000	99,985	2021/9/29
	平成27年度第6回 神戸市公募公債(5年)	0.101	3,200,000	3,200,032	2020/10/19
	平成22年度第4回 横浜市公募公債	0.947	100,000	100,040	2020/10/28

## マネープール・マザーファンド

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	平成22年度第6回 横浜市公募公債	1.312	200,000	200,870	2021/2/12
	平成22年度第5回 横浜市公募公債	1.265	600,000	601,224	2020/12/11
	平成23年度第1回 横浜市公募公債	1.189	200,000	201,438	2021/5/24
	平成23年度第2回 横浜市公募公債	1.201	200,000	201,792	2021/7/15
	第43回 横浜市公募公債(5年)	0.101	5,000,000	5,000,350	2020/11/17
	平成22年度第2回 福井県公募公債	1.4	275,500	277,511	2021/4/23
	平成27年度第3回 福井県公募公債	0.101	1,900,000	1,900,171	2020/11/27
	平成22年度第1回 岡山県公募公債(10年)	1.05	300,000	300,414	2020/11/30
	小 計	-	80,116,930	80,278,776	-
特 殊 債 券 (除く金融債)	第15回 政府保証地方公共団体金融機構債券(6年)	0.167	260,000	260,226	2021/3/19
	第17回 政府保証地方公共団体金融機構債券	0.9	306,000	306,067	2020/10/21
	第19回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.2	600,000	601,272	2020/12/14
	第22回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.3	572,000	575,157	2021/3/12
	第26回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.1	400,000	403,456	2021/7/16
	第29回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.0	100,000	101,056	2021/10/18
	第25回 政府保証日本政策投資銀行社債	0.147	300,000	300,063	2020/11/25
	第27回 政府保証日本政策投資銀行社債	0.11	200,000	200,096	2021/2/12
	第2回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.8	600,000	602,286	2020/12/27
	第6回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.9	500,000	503,625	2021/2/26
	第120回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	3,669,200	3,670,851	2020/10/30
	第122回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	1,121,000	1,122,390	2020/11/30
	第124回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	2,038,500	2,043,779	2020/12/28
	第126回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	350,000	351,288	2021/1/29
	第129回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	765,000	768,534	2021/2/26
	第132回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	310,000	311,788	2021/3/19
	第133回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	588,600	592,908	2021/4/30
	第135回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	536,500	540,362	2021/5/31
	第137回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	943,000	951,354	2021/6/30
	第139回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	100,000	100,908	2021/7/30
	第149回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	215,000	217,537	2021/11/30
	第33回 政府保証日本政策金融公庫債券	0.15	400,000	400,028	2020/10/27
	第34回 政府保証日本政策金融公庫債券	0.128	100,000	100,060	2021/2/25
	第211回 政府保証預金保険機構債	0.1	200,000	200,284	2021/10/19
	小 計	-	15,174,800	15,225,380	-
	合 計	-	330,581,730	330,807,626	-

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※末尾に※印のある銘柄は、現先で保有している債券です。

## ■ 投資信託財産の構成

(2020年10月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 330,807,626	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	23,936,839	6.7
投 資 信 託 財 産 総 額	354,744,465	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年10月12日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>354,744,465,126円</b>
コーポレート債	23,798,899,190
公社債(評価額)	330,807,626,423
未収利息	124,662,708
前払費用	13,276,805
<b>(B) 負 債</b>	<b>408,294,828</b>
未払金	404,360,000
未払利息	59,784
その他未払費用	3,875,044
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>354,336,170,298</b>
元本	353,828,408,194
次期繰越損益金	507,762,104
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>353,828,408,194口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>10,014円</b>

※当期における期首元本額410,225,615,973円、期中追加設定元本額55,902,202,499円、期中一部解約元本額112,299,410,278円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 当期末における、元本の内訳は以下の通りです。

SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルREAL)	144,000,000円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジあり)	239,199円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(南アランド)	3,474,833円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 資産成長型(為替ヘッジなし)	39,857円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(中国元)	12,046,048円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 資産成長型(為替ヘッジあり)	229,232円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(豪ドル)	50,000,000円	BNPパリバ・グローバル金融機関ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)	1,485,087円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(円)	11,000,000円	三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド(為替ヘッジあり)	279,064円
三井住友・公益債券投信(毎月決算型)	8,874,310円	三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド(為替ヘッジなし)	1,275,775円
グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジ型)	4,305,812円	米国優先リートファンド(為替ヘッジあり)	1,953,537円
グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ノーヘッジ型)	1,026,625円	米国優先リートファンド(為替ヘッジなし)	2,960,215円
三井住友・公益債券投信(資産成長型)	941,890円	三井住友DS・DCターゲットイヤーファンド2050	897,182円
日興グラビティ・ヨーロッパン・ファンド	9,958,176円	三井住友DS・DCターゲットイヤーファンド2060	329,342円
アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジなし)	39,857円	SMAM・アセットバランスファンドVA25L3<適格機関投資家限定>	353,573,052,153円

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2019年10月16日 至2020年10月12日)

項 目	当 期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>412,597,435円</b>
受取利息	440,002,485
支払利息	△27,405,050
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△664,066,520</b>
売却損益	△664,066,520
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△59,193,164</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△310,662,249</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>931,365,749</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>98,627,501</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△211,568,897</b>
<b>(H) 計(D+E+F+G)</b>	<b>507,762,104</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>507,762,104</b>

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。